

# 平成30年度 鴨川市消防委員会 会議録

- 開催年月日 平成31年2月13日(水)  
開始・終了時刻 午後2時00分から午後3時00分まで
- 開催場所 鴨川市役所7階会議室
- 議長 磯貝芳弘消防委員長
- 出席委員 磯貝芳弘委員長 長谷川清一副委員長 東島康二委員  
田代朗委員 入野芳一委員 佐藤則泰委員
- 事務局の職氏名 消防防災課長 中村一浩 課長補佐 保田充生  
消防生活安全係長 渡辺慎太郎 副主査 川名拓也
- 会議次第
- 1 開 会
  - 2 委員長あいさつ
  - 3 市長あいさつ
  - 4 議件
- 第1号議案 平成30年度消防団事業実施状況について  
第2号議案 平成30年度消防関係決算見込について  
第3号議案 平成31年度消防団事業計画について  
第4号議案 平成31年度消防関係予算編成について
- 5 その他
  - 6 閉 会
- 配付資料 会議次第  
議案資料  
消防委員名簿  
鴨川市消防条例  
火災発生状況

事務局（保田）

皆様こんにちは。

本日は、ご多用の中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

只今から平成 30 年度鴨川市消防委員会を開会させていただきます。

まず始めに本日の会議でございますが、鴨川市消防条例第 17 条第 2 項に「委員の過半数が出席しなければこれを開くことが出来ない」と規定されておりますが、消防委員 7 名中 6 名の出席をいただいておりますので、本会議は成立をいたします。

それでは、会議に先立ちまして、磯貝消防委員長からご挨拶をいただきます。

磯貝委員長

皆さんこんにちは。

本日は消防委員会を招集させていただきましたところ、委員の皆様には、お忙しいところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より消防委員会をはじめ、消防団活動や消防防災行事等にご支援、ご協力をいただいておりますこと、改めて敬意を表す次第でございます。

本日の議題は、第 1 号議案から、第 4 号議案まででございます。

皆様にご審議いただき、併せてご意見をいただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局（保田）

ありがとうございました。

続きまして、亀田市長からご挨拶をいただきます。

市長

皆さん、こんにちは。

委員の皆様方におかれましては、公私共にご多用の中、消防委員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より本市の、消防防災行政に深いご理解、ご協力を賜っておりますこと、重ねて敬意と感謝を申し上げます。

本市におきましては、消防施設整備の充実や、消防団員の育成、防災訓練の実施や自主防災組織の育成などを積極的に推進してまいりました。

しかしながら、想定を超えた災害が各地で発生する中、市民皆様が安心して暮らせる街づくりを目指し、更なる取り組みが不可欠と存じますので、委員の皆様には引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

委員会の議題につきましては、第 1 号議案から、第 4 号議案でございます。

皆様の忌憚のないご意見をお願い申し上げ、冒頭のごあいさつとさせていただきます。

事務局（保田）

ありがとうございました。

早速議事に入らせていただきますが、消防条例第 17 条第 1 項に、会議は委員長が議長を務めると規定されておりますので、議員委員長をお願いいたします。それでは、議員委員長よろしくをお願いいたします。

議長

議長を務めさせていただきます議員でございます。皆様のご協力をよろしくをお願いいたします。

本日の会議録の確認をしていただく委員を決めさせていただきたいと思いますが、私から指定させていただくということによろしいでしょうか。

～ 異議なしの声あり～

議長

会議録の確認については、入野委員をお願いしたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

それでは次第に基づきまして会議を進めさせていただきます。

これより議事に入ります。

まず、はじめに第 1 号議案 平成 30 年度消防団事業実施状況について、及び第 2 号議案 平成 30 年度消防関係決算見込については関連がございますので、事務局から一括説明をお願いします。

事務局（渡辺）

それでは私から説明させていただきます。第 1 号議案、平成 30 年度消防団事業実施状況についてですが、資料の 1 枚目をご覧ください。この中で主だったものについてご説明いたします。まず 4 月の 29 日ですが、幹部新入団員訓練を陸上競技場駐車場で普通救命講習会を文化体育館で行いました。幹部新入団員訓練では幹部団員 90 名、新入団員 22 名の参加をいただき、普通救命講習会には 29 名の参加をいただきました。

次に 5 月 20 日に第 14 回鴨川市消防操法大会を開催し、最優秀賞は第 3 支団第 3 分団が受賞いたしました。引き続き 6 月 24 日に館山市で開催されました第 37 回安房支部消防操法大会に出場し、結果は 2 位でした。

次に 10 月ですが、10 月 28 日に 2 回目の普通救命講習会を開催し、27 名の参加をいただきました。また、10 月 29 日に安房支部の上級幹部研修が行われ、本部団員が参加いたしました。

次に 11 月ですが、11 月 4 日に秋の全国火災予防運動の一環として防火パレードを実施し各支団ごとに消防車で主要道路を走行し、啓発運動をいたしました。

また同日、防災訓練を田原小学校で開催いたしました。

次に1月ですが、1月6日には恒例の消防出初式を開催いたしました。

また、今後になりますが、3月の1日から7日までは春の全国火災予防運動が行われますので、広報かもがわに啓発記事の掲載や、防火チラシの配布等行う予定です。

つづきまして、第2号議案平成30年度消防関係決算見込については資料の2枚目をご覧ください。最初に、常備消防費ですが、右から3行目の支出見込額をご覧ください。安房郡市広域市町村圏事務組合費が663,365,000円、こちらは全額、安房消防への負担金です。

次に非常備消防費のうち、消防総務事務費として、460,000円、これは、備考欄にありますとおり、消防委員の報酬や消防協会への負担金等でございます。

2行目の公用車費ですが、52,116,000円の支出ですが、主な内訳としましては、消防車両2台の購入費が47,088,000円です。これは昨年12月19日にすでに納車いたしました。第1支団第7分団2部、東条地区と第3支団第5分団、大山地区に配備いたしました。その他、燃料代、車検代等でございます。

次に消防団運営事業費として55,058,000円の内訳ですが、団員報酬、活動手当、運営交付金等でございます。

次に、左の上から3段目の消防施設費ですが、消防施設維持管理事業費として17,060,000円ですが、これは詰所の修繕や光熱水費等のほか、消防施設の建設や消防用備品の購入費等でございます。主だったものとしては、備考欄にございます、消火栓施設整備費負担金として、7,197,000円、これは水道局に消火栓の新設や修繕を委託しております。また、ホース乾燥塔設置工事として、1,285,200円と1,321,200円、これは第3支団第3分団と第2支団第5分団の火の見やぐらの老朽化により、やぐらを撤去し、ホース乾燥塔の設置工事を行ったものです。

そのほか、消防用備品購入費として、1,691,000円、これは消防ホースや消火栓の器具箱等でございます。

次に、防火水槽新設事業ですが、本年度の新設はございません。

次に災害対策費ですが、主だったものとして3段目の災害対策事業費といたしまして、8,648,000円、内訳としまして、自治体情報メール配信委託料が1,101,600円、その他、備蓄倉庫の備蓄品の購入や更新等でございます。

また、防災行政無線維持管理事業費としまして17,858,000円、こちらは無線施設の修繕及び保守委託料等でございます。

最後に自主防災組織補助事業ですが692,000円こちらは、自主防災会の防災対策事業に、補助金を交付したものでございます。

総合計で、815,416,000円の支出見込みでございます。

第1号議案及び第2号議案につきましては以上でございます。

議長

只今、事務局から第1号議案、平成30年度消防団事業実施状況について及び第2号議案、平成30年度消防関係決算見込について一括説明がありました。  
質疑・ご意見等ありましたら、よろしくお願いたします。

長谷川委員

自主防災組織補助事業で平塚地区は戸数割で備蓄品を用意しているのですか。

事務局（川名）

平塚地区は特殊でして、組単位で行っており、昨年度は大田代組が事業を行いました。天津地区は城戸と清澄といった町内会ごとに防災会がありますので、防災会ごとに事業を行っております。

議長

団員の確保が厳しくなっているなかで、現状の団員の状況を資料としてあればいいと思いました。

議長

ほかに質疑・ご意見等無いようですので、原案どおり承認いたします。

議長

これより第3号議案 平成31年度消防団事業計画案について及び第4号議案 平成31年度消防関係予算編成案については関連がございますので、事務局から一括説明をお願いします。

事務局（渡辺）

それでは私から説明させていただきます。第3号議案 平成31年度消防団事業計画案についてですが、資料の3枚目をご覧ください。まず、4月28日ですが幹部新入団員訓練と普通救命講習会を実施いたします。

次に5月19日に第15回鴨川市消防操法大会を実施いたします。また安房支部大会は6月23日に鴨川市で開催いたします。県大会につきましては、7月27日に市原にできました新しい消防学校でおこなわれます。なお小型ポンプの部に第3支団第6分団が安房を代表して出場することが決まっております。

次に10月ですが、2回目の普通救命講習会を開催します、また安房支部が主催します上級幹部研修に参加します。

続いて11月には秋の全国火災予防運動に伴い、防火パレードを実施いたします。また、防災訓練につきましては、11月10日に実施いたします。

続いて12月から恒例の夜警が始まりますので、今年度同様に出動式を行います。

続いて1月には恒例の出初め式を開催いたします。第3号議案につきましては以上のとおりです。

続きまして、第4号議案について、ご説明いたします。資料の4枚目をご覧ください。最初に常備消防費ですが、31年度が686,161,000円、こちらは全額安

房消防への負担金です。

次に非常備消防費ですが、公用車費が5,181,000円、消防車両の燃料代、車検や保険代等です。なお、31年度は消防車の更新予定はございません。

次に、消防団運営事業費が55,631,000円、こちらは、団員報酬、活動手当、交付金等でございます。

次に消防施設費ですが、消防施設維持管理事業費として10,103,000円、こちらは分団詰所の修繕費や光熱水費等、また備考欄にありますが、消火栓設置事業費として4,944,000円、こちらは水道局に委託して、水道工事と併用して消火栓の新設や修繕等を行うものです。でございます。

また、防火水槽新設事業ですが、31年度につきましても防火水槽の新設予定はございません。

最後に災害対策費でございます。最初に防災訓練事業として、107,000円、先ほど31年度事業計画であげました11月5日に予定しております防災訓練で使用する消耗品です。

次に上から2番目の災害対策事業費ですが、7,349,000円、こちらは、アルファ化米や保存飲料水等、備蓄品の購入及び更新の費用です。

次の防災行政無線維持管理事業費ですが、17,118,000円、こちらは防災無線施設の修繕及び保守点検委託料でございます。

最後の自主防災組織補助事業費ですが、2,000,000円、これは先ほど30年度の決算見込みで説明しましたが、自主防災組織が防災対策事業を行った時の補助金で、事業費の50%で20万円を上限としています。合計で784,000,000円でございます。前年比で2,400万円程の減となっております。以上で説明を終わります。

議長

只今、第3号議案 平成31年度消防団事業計画案について及び第4号議案 平成31年度消防関係予算編成案について一括説明がありました。質疑、ご意見等ありましたら、よろしくお願いたします。

長谷川委員

消防車の更新について、今年基準の20年に達するものがないので、更新車両はないとのことですが、33車両あるなかで、大丈夫ですか。

事務局(中村)

合併時に5台更新しており、調整は必要ですが、最近の車両は性能や耐久性が向上していることから、基準を20年以上伸ばしても支障ないと考えています。

議長

他にございませんか。無いようですので、原案どおり可決いたします。

皆様のご協力のもと、第1号議案から第4号議案まで審議が終了いたしました。以上をもちまして、私の議長としての職務を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

事務局（保田）

委員長ありがとうございました。続きまして、会議次第の5番目として、その他でございますが、事務局より2点ほど、説明いたします。

事務局（渡辺）

1点目ですが、平成30年の火災発生状況の報告をいたします。資料をご覧ください。平成30年は合計で27件の火災が発生いたしました。

平成31年につきましては、すでに6件となっております。

続きまして2点目ですが、委員の皆様様の任期は今年の3月31日までとなっております。平成31年度からは、強い鴨川づくりに向けた財政等適正化基本計画に基づきまして、市の委員会や協議会等の委員数の調整を行い、消防委員会の委員につきましては、7名、報酬は日額5千円とさせていただきます。

なお、平成31年4月からの消防委員の選定につきましては、今後、議員委員長と協議しながら決めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局（保田）

他に何かございますか。いろいろなご意見等伺えればと思いますが、どうでしょうか。

議員委員長

団員の確保が困難になっている状況であり、今後の消防団のあり方について、将来の目標をつくって、団長を中心に考えなければならない時期に来ていると思う、それによって消防車の配置だとかも考えられると思う。

佐藤委員

団員の確保ですが、まず女性消防隊が急務ということで、市のホームページや広報に載せたりしています。男性の消防団員についても検討しています。

事務局（中村）

消防団員の確保については、消防団本部主導で統廃合だったり人員の見直しをすることは難しいと思います。区長会や組の考えがあるでしょうから、そういったところと各分団長が調整をしながら、考えを本部の方に上げていただければと思います。

事務局（保田）

他に何かございますか。

長時間に渡りご審議いただきましてありがとうございました。以上を持ちまして、平成30年度鴨川市消防委員会を閉会させていただきます。本日はご多用の中、誠にありがとうございました。

